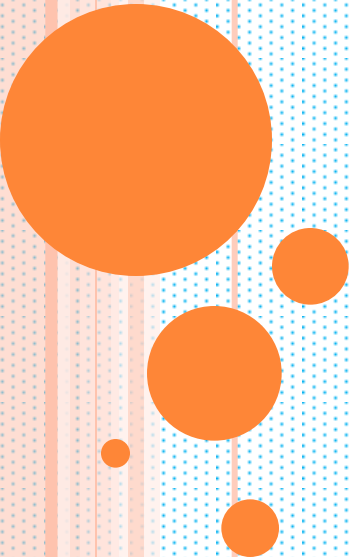


地域密着型金融の取組み状況
令和元年度
(平成31年4月～令和2年3月)



地域密着型金融の取組みについて (令和元年度)

<取組み方針>

当金庫は、地域のお客さまのニーズにあった金融サービスの提供を通じ、「地域社会の発展、地域の皆さまとの共存・共栄」を社会的使命としております。

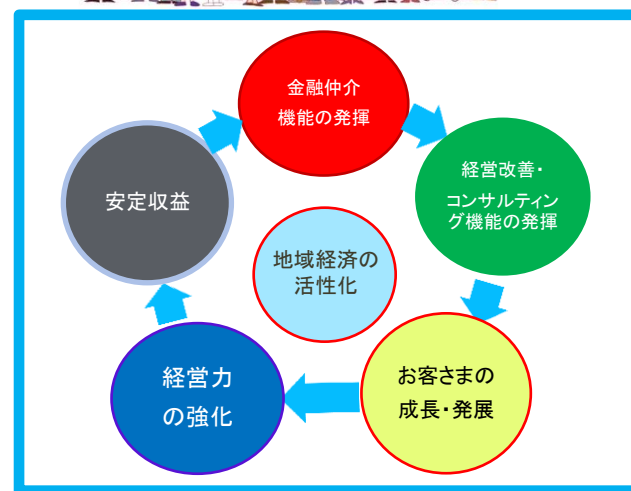
地域密着型金融は、地域に根ざし、地域とともに歩む「かわしん」の原点であり、恒久的な取組みとして推進しております。

また、地方創生への積極的な関与の観点からも、さらに地域密着型金融を推進し、事業性評価への取組み及び中小企業の成長・発展・再生支援等の取組みを強化し、地方創生と地域の活性化に貢献してまいります。

<計画期間>

平成31年4月から令和2年3月まで

地域発展の『好循環』を実現



課題解決型金融の実践



川口信用金庫

重点項目（令和元年度）

1. 取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮

- コンサルティング機能を発揮するための態勢整備
- ライフステージに応じた支援【創業・新規事業支援等】
- ライフステージに応じた支援【経営改善・事業再生支援等】

2. 地域・社会貢献充実への取組み

- 金融機能・サービスの充実（利便性と満足感、安心感、充実感）
- 地域・社会貢献の充実
- 地域の活性化～地方創生への取組み～

3. 地域やお客さまに対する積極的な情報発信

- 各種取組みの情報発信

1. 取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮

具体的取組み策と取組み実績(平成31年4月から令和2年3月)

コンサルティング機能を発揮するための
態勢整備

① コンサルティング機能を発揮するための態勢整備

■ビジネスサポートデスクによる支援強化

- ・副支店長ならびに新任融資課長を対象に人材開発課と連携し、審査実務研修を実施しました。
- ・審査役の臨店フォローを実施し、指導強化を図りました。

■専門的な知識・ノウハウを持つ人材の育成

- ・中小企業大学校の中小企業診断士養成課程へ、一次試験に合格した職員を派遣しました。
- ・信金中央金庫、損保会社・生保会社の講師を招き、預かり資産の研修を実施しました。

(対象:一般渉外、テラー、年金アドバイザーの職員)

■融資実践研修の実施

- ・保証協会付融資研修を実施しました。(埼玉県信用保証協会)
- ・住宅ローン、消費者ローン研修を実施しました。(しんきん保証基金)
- ・事業性評価融資推進研修を実施しました。

■外部関係機関等との連携強化

- ・日本政策金融公庫との業務提携を継続しました。
- ・さいたま市産業創造財団との連携を強化しました。
- ・埼玉県中小企業診断協会との連携強化を図りました。
- ・埼玉県環境部温暖化対策課と連携しました。

■課題解決個別相談会の充実

- ・川口市と市内を経営基盤とする金融機関、(公財)川口産業振興公社による事業承継セミナーを開催しました。

■ローカルベンチマークの活用による支援強化

- ・ローカルベンチマークシートの活用による支援強化を図りました。



川口鋳物企業研究会との連携



埼玉県産業創造財団とのミーティング



事業承継セミナー

②ライフステージに応じた支援【創業・新規事業支援等】

■地域産業支援課の充実

- ・令和元年12月4日、さいたま市文化センターにて最終審査が行なわれた(公財)さいたま市産業創造財団主催の起業家ビジネスコンテスト「世界を変える起業家」ビジコンinさいたま2019を共催、川口信用金庫賞として入賞した企業を当金庫が発行する景況レポート(令和2年2月号)に掲載しました。
- ・令和元年11月30日、大宮ソニックシティにて埼玉県による女性起業家ビジネスプランコンテスト「SAITAMA Womenピッチ最終選考会」が行なわれ、当金庫も後援しました。
- ・「彩の国ビジネスアリーナ2020」に共催
令和2年1月29日、30日の2日間、国内最大級の展示会「彩の国ビジネスアリーナ2020」を県内6金融機関で共催し、販路拡大・取引拡大のビジネスマッチングを推進しました。

■創業・新事業開拓、成長期待分野への資金支援

- ・創業・新事業支援融資の取扱い実績(令和2年3月末)
アロング 実行 8件 14百万円(残高 35件 53百万円)
起業家育成資金 実行 170件 567百万円(残高 687件 1,638百万円)
- ・成長基盤3分野(環境・医療・介護・健康関連、保育・育児)の事業資金取扱い
地域応援資金「実」 実行 6件 83百万円(残高 68件 724百万円)

■産学連携

- ・産学連携協定先の日本工業大学で第9回寄附講座を開講
当金庫職員を講師とする第9回寄附講座「創業の基礎」を開講しました。
(令和元年9月～令和2年1月)
- ・日本工業大学主催、NITEC埼玉産学交流会、宮代町、当金庫の共催により、日本工業大学「学生起業家支援プログラム」第14回ビジネスプランコンテストに共催しました。(令和元年11月)

■外部関係機関等との連携

- ・売電事業者と業務提携し、高圧・低圧電力の見直しを行なうことで、お取引先の経費削減に資する提案力を強化しました。(令和元年7月)



景況レポート(令和2年2月号)



SAITAMA Womenピッチ2019



彩の国ビジネスアリーナ2020



日本工業大学「学生起業家支援プログラム」
第14回ビジネスプランコンテストに共催

③ライフステージに応じた支援【経営改善・事業再生支援等】

■相談サービスの充実

- ・経営課題支援シートを活用し、776件の経営課題相談を受けました。
このうち、事業承継に関するご相談の153件は、中小企業基盤整備機構による事業承継専門家派遣、自社株評価、事業引継ぎ支援センター、埼玉県よろず支援拠点などの支援機関と連携し、課題解決支援を実施しました。

■経営改善・事業再生・事業承継等の支援

- ・経営改善支援先105先に対し、経営改善計画策定実行支援及び補助金の申請支援等を実施しました。
- ・企業再生支援融資の取扱い
サポート 52件 153百万円(残高 214件 373百万円)

■外部関係機関等との連携

- | | |
|------------------------------------|-------|
| ・公益財団法人さいたま市産業創造財団
金融機関連携成長支援事業 | 8先利用 |
| ・埼玉県信用保証協会
専門家派遣 | 3先利用 |
| ・埼玉県事業引継ぎ支援センター | 1先利用 |
| ・埼玉県よろず支援拠点 | 8先利用 |
| ・ミラサポ(中小企業庁による総合支援ポータルサイト) | 16先利用 |



経営課題解決に向けた相談会



2. 地域・社会貢献充実への取組み

具体的取組み策と取組み実績(平成31年4月から令和2年3月)

金融機能・サービスの充実
(利便性と満足感、安心感、充実感)

①金融機能・サービスの充実(利便性と満足感、安心感、充実感)

■利用者のニーズに即した金融機能・サービス・金融商品の充実

- ・J-Debitにおけるキャッシュレス・消費者還元事業への参加に係る事務手続きを実施しました。
- ・本店営業部に加え、営業推進部も信金中央金庫の信託代理店となりました。
(令和2年4月1日付)
- ・スマートフォンのアプリで残高や入出金明細が確認できるバンキングアプリサービスを開始しました。(平成31年4月22日)

■高齢者・障がい者等のニーズに配慮した取組み

- ・振り込み詐欺被害防止をテーマとした2019年カレンダーに続き、2020年は交通安全をテーマとしたカレンダーを職員からアイデアを募集し、作成しました。
- ・埼玉県警察本部のご協力のもと、振り込み詐欺被害防止への理解と取組み強化のため、「振り込み詐欺被害防止講習会」を開催しました。
- ・成年被後見人の預金の不正払出の防止を目的とした、後見支援預金の取扱いを開始しました。
(平成31年4月1日)

■取引の安全性への取組み

- ・生体認証付ICキャッシュカードの普及促進を図っております。
- ・法人向けインターネットバンキングのセキュリティ強化として、電子証明書の利用促進を図っております。
- ・サイバーセキュリティ強化への取組みとして、サイバーセキュリティ対策勉強会を定期的・継続的に実施し、また金融業界横断的なサイバーセキュリティ演習に参加しております。

■各種相談業務の充実

- ・関東信越税理士会埼玉支部所属の税理士による所得税還付申告相談会を実施しております。
- ・休日相談会 20回実施 相談件数 合計 141件
- ・年金相談会 11回実施 相談件数 合計 54件
- ・税務相談会 24回実施 相談件数 合計 18件



2020年カレンダー



振り込み詐欺被害防止講習会

②地域・社会貢献の充実

■地域・社会貢献の取組み

- ・埼玉県の「緑化推進事業」へ協力

森林の保全整備や身近なみどりの保全・創出を積極的に進めるため、「環境クリーン定期預金」を販売し、販売額の一定割合に相当する200万円を「彩の国みどりの基金」に寄附をさせていただきました。これまでの販売額は1,815億円、寄附総額は4,650万円となり、緑と川の再生のために使われております。

- ・クールビズ・ウォームビズの実施

エアコン稼働の設定温度を遵守すること等により、二酸化炭素(CO2)の排出量削減に努めております。

- ・夏休み「かわしんキッズデー」を開催

令和元年8月19日～21日までの3日間、本部研修室を自習室として開放し、「かわしんキッズデー」を開催しました。

■金融商品等を通じた環境・地域貢献活動への支援

- ・エコカー購入資金(カーライフプラン・エコ)等や、環境みらい資金の取扱いを行なっております。

■職員によるボランティア活動

- ・本店駐車場において役職員による献血を実施しました。昭和60年に「かわしん献血会」が発足以来、35回目となりました。今後も献血活動の普及・拡大に努めてまいります。

■ISO14001取得金庫としての目的・目標の達成

- ・本部、本店営業部への異動者を対象とした環境教育を実施しております(令和元年7月)。環境マネジメントに基づいて計画的、継続的に展開することで、職員が環境についての知識を学び、環境意識を向上させております。
- ・熱中症予防のため埼玉県の「まちのクールオアシス」推進事業に協力施設として参加しております。

■環境配慮型の機器・設備等の導入

- ・本店には長寿命のLED照明や、断熱性の高い複層ガラスを採用しております。
- ・一部の職員の名刺を卵殻10%～50%使用したパルプ代替利用のCaMISHELL製造法で作成し、環境に配慮した取組みを行なっております。



「彩の国みどりの基金」に寄附



夏休み「かわしんキッズデー」



職員による献血



川口信用金庫

営業推進部 地域産業支援課 課長



ISO 14001
環境マネジメントシステム
認証番号: 20190000000000000000



CaMISHELL

中小企業診断士

〒332-8686
埼玉県川口市栄町3丁目9番3号
TEL048(259)4111 FAX048(259)4112
<https://www.shinkin.co.jp/ksb/>

この名刺はゼロエミッションを推進するために卵の殻を使用しています。

CaMISHELL 製造法による名刺

③地域の活性化～地方創生への取り組み～

■地域活性化への取り組み

- ・川口市市産品フェア開催 当金庫お取引先企業46社が出展しました。
- ・「KAWAGUCHI i-mono、i-wazaブランド認定式」に参加しました。当金庫からの推薦2社が i-monoブランドとして認定されました。

■「かわしん経営塾」及び後援会「川信会」の充実

- ・川口市と市内を経営基盤とする金融機関、(公財)川口産業振興公社共催による事業承継セミナーを5回、開催しました。後継者育成教育、M&A、税務など多岐にわたるテーマに応じて専門の講師によるセミナーに、多くの経営者の皆さまにご参加をいただきました。

- ・第1回 令和元年5月29日 事業引継ぎへの心構え
- ・第2回 令和元年7月17日 事例から学ぶ事業承継の進め方
- ・第3回 令和元年9月18日 身内に後継者がいない！
- ・第4回 令和元年11月20日 事業引継ぎへの心構え
- ・第5回 令和2年1月23日 会社の「磨き上げ」

■地域振興協賛等

- ・「川口市近隣少年軟式野球交流大会」へ協賛しました。(令和元年9月)
- ・川口マラソン大会に協賛し、役職員が参加しました。(令和元年12月)
- ・鴻巣パンジーマラソン大会に協賛しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大会は中止となりました。

■各営業店独自の地域貢献活動の活性化

- ・川口市の『川口の元気 夢わーく体験事業』、さいたま市の『未来くるワーク体験』等、各営業店において地元中学生の体験学習の受入れを行ないました。

■ビジネスマッチングの推進

- ・「彩の国ビジネスアリーナ2020」を(公財)埼玉県産業振興公社と共催しました。当金庫の取引先27社が出展し、積極的なビジネスマッチングの機会として多くの商談が行なわれました。(令和2年1月)
- ・当金庫の取引先企業情報を全店で共有し、企業マッチングが成立しました。

■教育活動・金融教育活動

- ・高校生を対象に職場見学会を実施しました。(令和元年8月)



川口市市産品フェア



事業承継セミナー



高校生の職場見学会を実施

3. 地域やお客さまに対する積極的な情報発信

具体的取組み策と取組み実績(平成31年4月から令和2年3月)

各種取組みの情報発信

■ホームページの充実、ディスクロージャー誌による情報発信

- ・ホームページ(PC版・スマートフォン版)に新着情報やキャンペーン商品等を掲載し、地域貢献活動などをタイムリーに発信しました。
- ・年度、半期のディスクロージャー誌に地域密着型金融の推進計画と毎年の取組み実績を掲載しました。(ホームページに掲載し公表)

■かわしん環境活動報告書の発行(年1回)

- ・当金庫の環境方針、環境問題への取組み状況を広く理解していただくことと環境意識を高めていただくため、「かわしんの環境活動報告書」を毎年、定期的に発行しています。(ホームページにも掲載し公表)

■かわしん景況レポートの発行(四半期毎)

- ・当金庫お取引先企業、6業種400社を対象に景気動向やタイムリーな話題を取り上げた特別調査を四半期ごとに実施し、企業動向や地域社会の動向等を「かわしん景況レポート」として発行しました。(ホームページに掲載し公表)

■スマートフォンによる商品紹介と商品申込の利便性向上

- ・スマートフォンによる商品紹介の充実を図りました。

かわしんホームページ



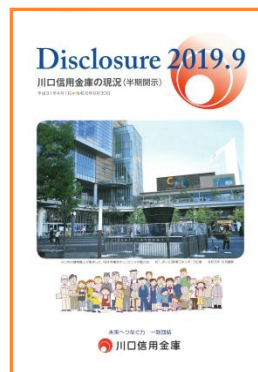
スマートフォンによる商品紹介



ディスクロージャー誌



ミニディスクロージャー誌



半期ディスクロージャー誌



環境活動報告書



景況レポート